（別添資料１）

事業所名　株式会社クラ・ゼミ　コペルプラス柏たなか教室

支援プログラム

作成日　2026 年　9 月　22 日

法人（事業所）理念		当事業所では、「できないことをできるように」という点にだけ焦点を当てるのではなく、子どもが自ら持っている力を発揮し、将来において社会で活躍する姿をサポートするための支援を目指します。		
支援方針		「できないこと」「苦手なこと」を訓練する視点より、「できること」「得意なこと」を伸ばす視点を重視し、言語やコミュニケーション、社会性、生活支援、認知、運動に関わる多種多様な課題を「楽しい遊び」として取り組めるよう工夫し、提供します。		
営業時間		9 時　30 分から　18 時　30 分まで	送迎実施の有無	あり　(なし)
		支　援　内　容		
本人支援	健康・生活	発達の時期により習得すべき技能や生活習慣確立のための課題をバリエーション豊かに行います。訓練ではなく遊びとして楽しめるよう工夫を凝らし、習得に難しさがある時には手を添えて介助したり、指導員が楽しく手本を見せることで意欲を引き出したり、一人ひとりに合わせたスモールステップを大事にします。また、規則正しい生活リズムのために、家庭でできることをご提案します。		
	運動・感覚	運動能力や感覚を育てるために、多様な粗大運動・微細運動に取り組みます。粗大運動ではトランポリンや平均台などの運動器具を使用し、様々な身体動作にチャレンジします。微細運動では洗濯バサミや紐通しなど多用な教材を用い、楽しい遊びとして取り組みます。五感を育てる課題として、楽器などの聴覚への刺激、感覚遊びを通した触覚への刺激、視覚的・聴覚的情報処理能力向上のための多様な課題を発達段階に応じて行います。		
	認知・行動	発達段階に合わせた様々な認知課題に取り組みます。環境へ自ら働きかけて学ぶ段階ではボタンを押すと音が鳴る玩具を用いた遊びなどを中心に、色や形、数などの概念理解の段階ではマッチングや分類などをバリエーション豊かに行います。楽しみながら取り組むことで 意欲的な学習行動へつながるように進めます。		
	言語コミュニケーション	言葉はコミュニケーションの手段であるという前提に立ち、指導員とのやり取りから喜びを共有する体験を重ねます。指差しや視線の共有、物を隠す遊び、擬音語でのやりとりなどを通して、コミュニケーションを深めていきます。文字の読み書きのために、マッチングや文字カードでなどの課題に取り組みます。		
	人間関係社会性	子どもの感情を受け止め寄り添うことを第一に、大人との信頼関係や愛着の形成を目指した関わりを通し、将来における円滑な人間関係の構築を目指します。小集団クラスで行うルールのあるゲームでは、関わりの成功体験を重ね、他者の感情理解や自己の感情調整を体験的に学びます。成長の過程で起こる困った行動には、ABA（応用行動分析）の観点から、環境の改善や対応の見直しを検討し、子どもが自主的に行動を変えられるよう導いていきます。		
家族支援		保護者の支援の見学や参加を原則とし、安心して子育てができるよう支援します。ペアレント・トレーニングを開催し、より深く子どもを理解し子育てが楽しくなることを目指します。	移行支援	通園先との会議などで、積極的に情報共有を行います。児童にとって、移行先が安心できる場所となり、さらなる成長へつながるよう、丁寧な連携を行います。
地域支援・地域連携		地域支援・連携として、ペアレントトレーニング講座、子育て相談会などの開催を検討します。地域の子ども支援の一助となるよう、積極的に案内や提案を行い、連携に努めます。	職員の質の向上	障害児支援の技法や知識獲得のために、定期的な研修会を開催し、支援スキルの向上へつなげます。虐待研修や感染症研修を通して、福祉サービス職員としての意識向上を目指します。
主な行事等				